

実際どうなの、高知地検？

— 2年目職員に聞いてみた！ —



Kさん

Mさん

Nさん

Iさん：今回は新規採用希望者に向けて、高知地検の実情を知ってもらうため、私、検察広報官が、採用二年目の若手職員にインタビューして「こう」だと思います。それでは、皆さん、本日はよろしくお願ひします。

Kさん、Mさん、Nさん：よろしくお願ひします。

Iさん：最初に、事前に聞いた話だと、皆さんは「HERO」という検察庁を舞台としたドラマがきっかけで検察庁に興味を抱いたそうですね。高知地検に入る前に入った後では検察庁に対する印象は変わりましたか？

Kさん：私の中では「検察庁」というと人の人生を左右する仕事なので、すごく堅苦しいイメージがありました。が、決してそんなことはなく、皆さん優しい方ばかりで、温かい職場だなという印象を受けました。

Mさん：私は、高知地検が主催していた業務説明会（6月頃）に参加したのですが、そこで業務の内容や実際に働いている職員の方の話聞いて、雰囲気の良い職場だなと感じ、そこに惹かれました。実際入ってみても雰囲気の良さは変わらず、今も楽しく働くことができます。

Nさん：私も入庁前に業務説明会に参加

したのですが、Mさんと同じで、アットホームでコミュニケーションが取りやすい雰囲気だと感じました！捜査や公判に関する業務が主な仕事だと思っていました。が、実際に仕事をしていく中で、どの部署も欠かすことのできない仕事ばかりだと感じています。

Kさん：雰囲気もめちゃめちゃ良いと思います。別の職場で働いたことのある方も、職場の雰囲気が良いと言っていました。年齢が近い方はもちろん、年齢が離れた世代の方とも、気軽に色々な会話ができて楽しいですし、飲み会なども誘ってくれるので、より仲良くなれます。

Iさん：それは良かったです。仕事は楽しいことばかりではないと思いますが、実際働いて大変だったこと、やりがいを感じたことはありますか？

Nさん：大変だったのは「電話対応中に相手の話を理解すること」です。初めて聞く単語ばかりで最初は何を言っているのかわからなかったのですが、周囲の方が、今の電話はこういう意味だよと教えてくれて、徐々に理解できるようになりました。

Iさん：たしかにNさんの部署は、警察から電話がかかってくるものが多く、専門用語や具体的な事件のことについて聞かれることがあるので、最初は理解が難しいですね。

ですが、その点は周囲の上司や先輩がフォローしてくれているようですね。Mさんはどうですか？

Mさん：私は、立会事務官として、検察官と一緒に、捜査公判にあたっています。中には、テレビ等で報道されている事件を扱うこともありま。あるときは犯行現場を見に行ったり、またあるときは遠方へ取調べに行ったりと大変なこともあります。ですが、事件の真相解明のため、検察官が一人で捜査や公判を行うのではなく、検察官と共に、いわば二人三脚で捜査等に従事できることにやりがいを感じています。

Iさん：立会事務は検察庁でしかできない仕事です。よね。皆さんに質問ですが、休みは取りやすいですか？

Mさん：業務の状況を見ての判断になりますが、融通は効きやすいと思います。私事ではございますが、今年度、1週間ほど結婚休暇を取得しました。



【証拠品事務】

警察等が押収した証拠品を、受入、保管及び処分する事務。

証拠品の価値を下げないように適切に保管することが重要です。



【立会事務】

検察官と二人三脚で捜査や公判に従事し、取調べの立会や事件関係者及び警察・裁判所などの関係機関との連絡調整を行います。

その間は、私の代わりに他の方が業務を担当してくれるなど、応援態勢がしっかりしているので、気兼ねなくお休みをいただきました。そのほかにも、予定が空いているタイミングを見計らって、計画的に休暇を取得することができ、趣味である釣りに行くなどして、心身共にリフレッシュしています。余暇を満喫することで仕事の質も上がり、充実した日々を過ごせています。

Kさん：私の部署も、とても休暇が取りやすいです。もちろん繁忙期は予定が合えばということにはなりますが、基本的に休みを取りたいと思えば取れなかったことはありません。年に十回ほど「推し」のライブに行っているのですが、いずれも早く休暇の許可をいただきました！今後も「推し」のため、メリハリのある仕事を行い、計画的に休暇を取得しようと思います！

Nさん：私も休暇は取りやすいです！証拠品担当は4人いるので、周りの出勤状況にもよります

が、周囲の方が積極的に休暇を取得するよう声をしてくれるので、休暇が取りやすい雰囲気になっています。

Iさん：どの部署も休暇が取りやすいみたいです。ね。かくいう私もキャンプや釣りのシーズンになれば、計画的に休暇を取得しています。では、実際に働いてみて、検察庁に向いている人はどんな人なのか、若手職員の目線で教えてください。

Nさん：少しでも興味があつて検察庁に入りたいと思っている方なら誰でも向いていると思います！冒頭でも話がありました。私は「HERO」というドラマを見て「検察事務官カッコイイ！私もなりたい！」と思つて入りました。今まで法律の勉強をしたわけではないので、多少の不安はありましたが、実際に働いてみると研修や勉強会などで、仕事に必要な法律や知識を学ぶことができました。先輩方も優しく教えてくれるので、不安にならなくても大丈夫です！

Kさん：私も同意見です！私も高卒で入りましたが、大卒の方に比べて、文章作成能力が低いのではないかと不安でした。しかし、実務で起案を重ねるうちに起案能力が鍛えられたと思います。今では、そんなに苦手意識もありません！

Iさん：先ほど研修の話が出ましたけど、採用1年目は初等科研修といって検察事務官として必要な基礎的な知識・技能を修得する長期の研修があります。初等科研修に参加されたと思いますが、実際にどうでしたか？

Mさん：大阪高検管内と高松高検管内が合同で研修を受けたのですが、私たちの時はコロナの影響もあり、半分リモート、半分集合型での研修になりました。他地検の同期とは飲みに行ったり野球観戦したりと今後も続く仲間ができたような感覚で、有意義な時間を過ごすことができました。次は中等科研修で会えるのが楽しみです。

Nさん：楽しかったです。テストがあるのが唯一嫌でした！四国以外に出ることがあまりないので、勉強もしましたし、他地検の同期と話したり、觀光したり、良い気分転換になりました。

Kさん：とにかく楽しかったです。テストはあるのですが、先輩方が「テストは気にせず楽しんでいやく」と言ってくれたので、思い詰めることはなかったです。それよりも他の地検の方とも仲良くなれて、ただただ楽しい思い出となりました。

Iさん：今でも関係が続く仲間ができて良かったですね。私も高松高検管内に同期がいますが、今でも仕事で助けられていることがあります。



【会計事務】

消耗品の購入や物品の管理などを行う事務。

消耗品の在庫管理や契約の締結などを行っています。



Iさん



【検察広報官】

一般広報や事件広報を行う事務。
検察庁ホームページの管理も行っていきます。

ぜひご覧ください！！



このようにかけがえのない仲間となると思いますが、大切にしてください。それでは最後に皆さんにメッセージをお願いします。

Nさん：高知地検はとても雰囲気良く、仕事もしやすいです。皆さん優しい人が多く、丁寧に指導してくれますので、仕事も頑張ろうと思えます。ぜひ一緒に働きましょう！

Kさん：職場の雰囲気が良い、仕事も検察庁でしかできない内容で、興味のある方にとっては面白い、こんなに魅力が溢れている職場はないと思います。ぜひ高知地検と一緒に働きましょう！

Mさん：この記事だけでも高知地検の魅力は十分に伝わったと思いますが、官庁OPENゼミや業務説明会なども開催しており、より具体的な内容を直接お伝えすることができますし、疑問点にお答えすることもできます。

高知地検で

お待ちしております♪

Iさん：皆さん貴重な時間をありがとうございます。この記事をご覧になった皆さんは高知地検の雰囲気が少し分かっていただけたのではないのでしょうか？ですが、まだまだ気になります。ぜひMさんの話でも触れています。少しでも興味がある方は、毎年3月頃に開催される四国官庁OPENゼミや毎年6月頃に開催される業務説明会で高知地検の職員と話せる機会がありますので、ぜひご参加ください(そこでは、もっと踏み込んだ話も聞けると思いますよ...)。

